市長定例記者会見

～資料～

令和3年7月9日（金曜）

７月６日からの大雨に伴う被害状況

～7月9日10時00分時点まとめ～

７月６日からの大雨に伴う被害状況

警戒レベル4（避難指示）　➡ 9日（金）11時5分解除

人的被害		なし
住家被害	床上浸水	6棟
	床下浸水	75棟
非住家被害【玉造温泉、倉庫・納屋等】		27棟

その他被害	
道路【通行止め、冠水、陥没】	166箇所
法面くずれ、崖くずれ	132箇所
その他【河川、田畑等】	139箇所

（7月9日 11時00分時点まとめ）

新型コロナワクチン接種券の発送

対象者別　予約・接種スケジュール

封筒に入っている「新型コロナワクチン接種のお知らせ」の内容を読み
❶～❸の接種対象のどれにあたるかを確認のうえ、予約をお願いします。

❶

- 基礎疾患のある人
- 高齢者施設等の従事者
- 60～64歳の人
  （昭和32年４月２日～昭和37年４月１日生まれ）

❷

❶以外で
- 40～59歳の人
  （昭和37年４月２日～昭和57年４月１日生まれ）

❸

❶以外で
- 12～39歳の人
  （昭和57年４月２日～平成21年6月30日生まれ）

予約開始日時

❶	❷	❸
集団接種 令和３年 接種券到着日	集団接種 令和３年 8月2日(月)8:30	集団接種 令和３年 8月10日(火)8:30
個別接種 接種券到着日の開院時間	個別接種 令和３年8月2日の開院時間	個別接種 令和３年8月10日の開院時間

予約できる接種日　対象者共通

集団接種

Web予約サイトや市ホームページ、
コールセンターなどでご確認ください。

集団接種会場の予約枠は順次追加していきます。
空きがない場合は、しばらくお待ちください。

個別接種

それぞれの病院・
診療所にお尋ねください。

国際文化観光都市70周年記念

松江城シンポジウム

国際文化観光都市 70 周年記念

松江城シンポジウム

2021 年

7 月 11 日［日］ 13:30 ～ 16:30

島根県民会館　中ホール（島根県松江市殿町 158）

～講演～

Ⅰ「日本建築史における天守の位置付け」　藤井恵介氏（東京大学名誉教授）

Ⅱ「松江城天守 国宝へのみち」　上野勝久氏（東京藝術大学大学院教授）

Ⅲ「世界文化遺産の現状」　西 和彦氏（東京文化財研究所 国際情報研究室長）

～パネルディスカッション～

「ふるさとの宝を世界の宝へ～松江城を守り伝え、まちづくりに生かす～」

コーディネーター：清水真一氏（徳島文理大学教授）

パネラー　：藤岡大拙氏（松江城を守る会会長）、上定昭仁（松江市長）

主催：松江市、共催：松江城を守る会

MATSUE起業エコシステム

支援サイドの機能分類とプレーヤー案のイメージ

支援サイドの機能分類とプレーヤー案

- 挑戦する・挑戦し続けるための情報・ノウハウ、仲間・活動コミュニティ、事業課題解消支援

新規起業家　第二創業者　地元企業　松江市

経済団体　金融機関　メディア　支援機関　先輩起業家 支援者 等

- 起業支援機能のなかで提供するコミュニティが育つコワーキング空間等の場の準備

松江市　経済団体

※創業支援施設に関する実証事業を予定

- 多様な働き方・生き方を知り起業家マインドを体得するための教育機会

新規起業家　第二創業者

松江市　教育機関

松江市

- イノベーションを支える行政・教育・法律の枠組み

松江市

- 活用可能な市外のヒト・モノ・カネ・情報へのアクセス機会（以下候補例）

例：東京都NEXs Tokyo、広島県サンドボックス

- エコシステムで生まれた事例や取り組みを市内外のプレーヤー候補（活用サイド・支援サイド）に対し発信し、魅力を認知させる（UIJターンの促進にも寄与）

松江市　メディア

「MATSUE起業エコシステム」の将来像のイメージ

現状認識及び起業エコシステムのイメージ図

現状認識	新たなビジネスモデルに挑戦するにあたり、ロールモデルとなる人が少ない	新たなビジネスモデル創出を支える各種経営リソース（ヒト・モノ・カネ・情報）を提供できる仕組みや知見が不足している	ロールモデル、チャレンジャー、支援者、地元企業などが出会うきっかけがない
問題	チャレンジャーやその予備軍が目指すべき人物像（起業家像）のイメージが持てず、結果、抱いた夢の出口をイメージできない	新たなビジネスモデルに挑戦しようとしても、地域においてスタートアップ等の支援経験が乏しいことから、それを支援する知見やノウハウがない	関係する登場人物が接点を持つことがなく、互いの強みも含めた理解が進んでいない
必要機能	**「知る」機会**	**新ビジネス創出支援のノウハウ**	**地域連携**

MATSUE起業エコシステム

活用サイド

STEP 1　知る

① 多様な働き方・生き方を知る
② 「主体性」「チャレンジ精神」を身に着ける
③ 原体験や漠然とした想いを人生のビジョンに昇華する

起業家教育
① 起業家等との交流機会（交流・情報収集可能なコミュニティ）提供
② 実践プログラムの提供
③ 原体験ワークショップの提供

STEP2　挑戦する

④ 人生のビジョン具現化に向け実際の行動を起こす（例：起業創業、新規事業立ち上げ）

起業家教育
④ インターン機会の提供

起業支援施策
④ 起業創業・新規事業に情報・ノウハウ提供、同フェーズの仲間に出会えるコミュニティの提供

STEP 3　挑戦し続ける

⑤ 事業課題を解消しながらビジョンを実現させていく・失敗しても再挑戦する
*地元企業とも連携して課題解消を目指す

起業支援施策
⑤ 事業継続に必要な情報・ノウハウ（事業化支援全般）、リレーションの提供、同フェーズの仲間に出会えるコミュニティ提供

STEP 4　地域に還元する

⑥ 支援サイドの立場から貢献する

起業支援施策
⑥ 支援サイドとしての基盤運営参加やコミュニティ参加機会の提供

新たな挑戦を地域一体となって応援する心理的・物理的な基盤：起業家教育・起業支援施策・その他の取組

支援サイド

貴市 ― 教育機関 ― 経済団体 ― 金融機関 ― メディア ― 支援機関 ― 先輩起業家 支援者 等

［凡例］■：松江市内で活動する組織・個人/■：松江市外で活動する組織・個人、活用サイドはすべて市内居住者を想定

活用可能な域外の事業・取組

【注】支援サイドの連携体制も重要となるほか、ヒト・モノ・カネ・情報のうち基盤として不足している要素で市外に活用可能な既存事業・取組がある場合は、市などが仲介するHUB機能を提供していく

例：ベンチャーキャピタル・投資家等、補助金制度、ピッチコンテスト、アクセラレーションプログラム、スタートアップ支援に詳しい弁護士・弁理士等プロボノ人材